

宮城県登米地域

森林認証への取組を

契機とした

林業サイクルの再構築

～登米市森林管理協議会の取組～

1 登米地域の林業の現況

宮城県登米市は、宮城県の北東部に位置しており、民有林の人工林率が県内有数の林業地域です。集約化施策による積極的な利用間伐の推進を図るなど森林整備と素材生産が盛んな地域で、これらの森林施策を

2 林業成長産業化地域構想

担うのは市内に3つある森林組合（東和町森林組合、津山町森林組合、登米町森林組合）と米川生産森林組合です。

また市内には、首都圏や仙台圏市場等への出荷に特化した製材団地がありますが、木材需要の変化にさらされており、品質・性能に対する消費者ニーズへの対応や付加価値の高い製品が求められています。

このような中で平成28年に登米市有林2,717 haでFSC®森林認証（FM認証）の取得に取り組み、市内4組合と登米市にて「登米市森林管理協議会」（以下「協議会」）が設立されました。

厳しい状況の林業・木材産業を打開するために、協議会の構成員で議論を重ね、6つの重点プロジェクトを策定しました。このプロ

3 持続可能な森林資源の育成と認証材の増産及び安定供給

(1) 流通の一元管理

協議会の運営にあたり「FM認証管理事務局」と「FM認証材流通事務局」の2つ

プロジェクトでは戦後拡大造林により形成された後発林業地域である弱みを、森林認証への取り組みをベースに林業サイクルの再構築を図り、強みに変えていくものです。このプロジェクトが平成30年に林業成長産業化地域創出モデル事業として認定されて、5年間にわたり集中的に取り組む事となりました。

以降、本プロジェクトの特徴でもある持続可能な森林資源の育成と認証材の増産及び安定供給、広葉樹材の高次加工による多様な製品開発についてご紹介します【図1】。



計画的な森林施策



FSC 認証の年次監査



図1 登米地域林業における6つの重点プロジェクト

